

公益財団法人 静岡市勤労者福祉サービスセンター

ジョイフ静岡



ジョイフ静岡キャラクターぶっぴい

1-1 設立の経緯

昭和63年

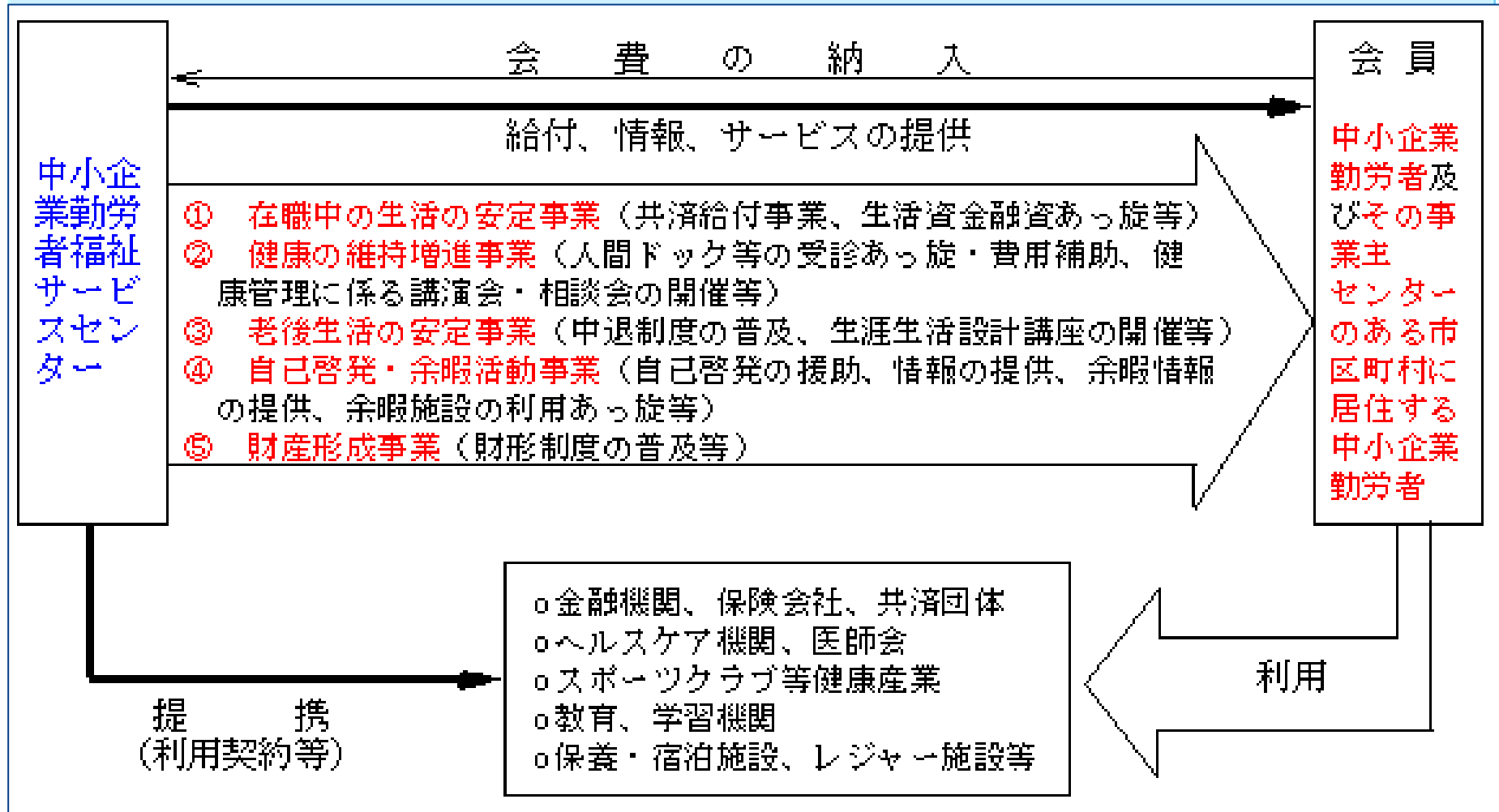
国が「中小企業勤労者総合福祉推進事業」創設

1 事業の概要

中小企業単独では実施が困難な福利厚生について、地域の中小企業勤労者と事業主が共同し、「中小企業勤労者福祉サービスセンター」を設立し、そのスケールメリットを利用して総合的な福祉事業を行うことに対して、国が補助を行い、その助成をするもの。

2 制度立ち上げの背景

中小企業が我が国経済社会において重要な地位を占め、多くの勤労者に就業の場を提供しているにもかかわらず、その一方で、中小企業と大企業との間には雇用、労働条件等の面で様々な格差があり、とりわけ労働福祉の格差が大きかった。



1-2 沿革

平成 3年 静岡市勤労者共済会設立



平成 9年 財団法人静岡市勤労者福祉
サービスセンター

平成 4年 清水市勤労者共済会設立



平成13年 由比町、蒲原町、富士川町が
加入し、清庵勤労者共済会設立



平成15年 (財) 静岡庵原勤労者福祉サービスセンター



平成21年 (財) 静岡市勤労者福祉サービスセンター



平成24年 公益財団法人 静岡市勤労者福祉サービスセンター

2. 設立目的

ジョイブ静岡



中小企業勤労者等

- 静岡市内の中小企業に勤務する勤労者と事業主及びこれらの家族
- 静岡市に居住し、市外の中小企業に勤務する勤労者及びこれらの家族
- 静岡市の市民

静岡市

総合的な福祉事業の
実施

中小企業勤労者等の活力増進

市民福祉の向上及び
産業の発展



会員規模別事業所の内訳

平成24年9月1日現在

会員数規模	事業所数	割合(%)	会員数	割合(%)
1~4人	1,352	68.6	2,942	21.3
5~9人	297	15.1	1,930	14.0
10~19人	182	9.2	2,436	17.7
20~29人	59	3.0	1,377	9.9
30~49人	39	2.0	1,434	10.4
50~99人	28	1.4	1,920	13.9
100~199人	12	0.6	1,544	11.2
200~299人	1	0.1	222	1.6
300人以上	0	0.0	0	0.0
	1,970	100.0	13,805	100.0

会員数の推移

(1) 推移

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
会員数	11,024人	11,629人	12,080人	12,592人	13,152人
会員増減	—	605人	451人	512人	560人
事業所数	1,666	1,746	1,796	1,867	1,919
事業所増減	—	80	50	71	52

(2) ①会員事業所の紹介

②団体事務局を通しての案内

③魅力ある事業づくり

(3) 費用負担 入会金 500円 会費 月600円

3. 事業内容

- (1) 生活の安定及び財産形成に資する事業
- (2) 健康維持増進に資する事業
- (3) 自己啓発及び余暇活動に資する事業
- (4) 老後生活の安定に資する事業
- (5) 給付等に関する事業

(1)生活の安定及び財産形成に資する事業

①店舗等との割引契約事業



②生活関連物資の斡旋事業



③生活関連物資の紹介事業



- ## ④
- ・ ライフサポートセンターしずおか相談窓口の斡旋
 - ・ 国の中退共制度の紹介
 - ・ 労金の生活資金など各種金融制度の紹介あっせん

(2)健康維持増進に資する事業

(1) ①遺伝子検診等の斡旋

②人間ドック・脳ドック補助 (3) ①スポーツ大会の開催



(2) 健康増進施設割引利用

共通割引利用券 2012

利用期間:平成24年4月1日(日)~平成25年3月31日(日)

会員番号	会員氏名
利用者氏名	続柄 (○を付ける)
	1.本人 2.登録同居家族

ジョイス静岡
(財)静岡市勤労者福祉サービスセンター理事長



②スポーツ講座の実施



健康増進施設等

施設名	区分		一般料金	ジョイ静岡料金
静岡市清水西里温泉浴場 やませみの湯	3時間迄	大人	600	300
		小人	300	0
	3時間以上	大人	800	500
		小人	400	100
掛川つま恋温泉 森林乃湯	入館料	中学生以上	1,000	600
		小学生	500	200
口坂本温泉	入湯料	中学生以上	280	0
静岡市ふれあい健康増進館 ゆ・ら・ら	全日使用券	大人	1,200	900
		小人(3歳~中学生)	600	300
	夜間使用券	大人	600	300
		小人(3歳~中学生)	300	0
さから天然温泉 子生れ温泉	入館料(3時間)	中学生以		



施設名	区分	一般料金	ジョイ静岡料金
藤枝瀬戸谷温泉 ゆらく	入館料	中学生以上	500 300
		3歳~小学生	300 100
湯ノ島温泉	入湯料	13歳以上	500 200
駿河健康ランド・ 石和・信州利用可	入館料	中学生以上	1,995 850
		3歳以上	945 545
梅ヶ島新田温泉黄金の湯	1日	大人(中学生以上)	800 450
		小人(3歳以上小学生まで)	400 200
大人には350円、 小人には200円を返金	3時間迄	大人(中学生以上)	500 150
		小人(3歳以上小学生まで)	200 0

(3)自己啓発及び余暇活動に資する事業

①自己啓発セミナー



チョコレートケーキ作りの様子



スマートフォン講座の様子



テーブルマナー講座の様子



キャラクター弁当作りの様子

②体験活動事業



フラワーアレンジメント体験の様子



さつまいも掘り体験の様子



みかん狩り体験の様子



安倍川河川敷清掃の様子

レジャー施設等



施設名	区分		一般料金	ジョイブ静岡料金
海洋科学博物館・ 自然史博物館	入館料	高校生以上	1,800	1,200
		4歳～中学生	900	450
横浜・八景島 シーパラダイス	アクアリゾートパス (水族館3施設パス)	大人・高校生	2,700	2,000
		小・中学生	1,600	1,000
		4歳以上	800	300
	ワンデーパス (アクアリゾートパス+ プレジャーランドパス)	大人・高校生	4,900	3,800
		小・中学生	3,500	2,700
	【冬季料金】 ワンデーパス (アクアリゾートパス+ プレジャーランドパス)	4歳以上	2,000	1,400
		大人・高校生	4,400	3,500
		小・中学生	3,200	2,500
エスパルスドリームフェリー	乗船料(片道)	大人	2,200	1,700
		小人(6歳以上12歳未満)	1,100	700
掛川花鳥園	入園料	60歳以上	840	470
		中学生以上	1,050	650
		小学生	525	150
フェルケール博物館	入館料	大人	400	100
		中高生	300	0
		小学生	200	0
東海道広重美術館	入館料	大人	500	100
由比本陣記念館(御幸亭)	入館料		150	0
伊豆長岡温泉おとり荘	宿泊料	500円引き(会員証提示にて割引あり)		
伊豆長岡温泉寿荘	宿泊料	60歳未満	8,130	7,630
		60歳以上	7,060	6,560
		夕食時1品サービス		
日本平動物園	入園料	高校生以上又は15歳以上	500	200

施設名	区分		一般料金	ジョイブ静岡料金
富士急ハイランド	入園	中学生以上	1,300	1,000
		3歳～小学生	700	400
	フリーパス	18歳以上	5,000	4,200
		中高生	4,500	3,800
ディスカバリーパーク焼津 天文科学館	プラネタリウム	3歳～小学生	3,700	3,100
		大人	600	320
		小人(4歳～16歳未満)	200	0
愛宕ゴルフガーデン	打ち放題コース ※サービス時は現金払いのみ利用可	90分	2,100	1,600
		120分	2,600	2,100
はままつフラワーパーク	入園料	大人	800	520
		小中学生	350	115

* 各種鑑賞券・食事券のあっせん

* 宿泊補助

* ディズニーリゾート割引券の提供

* NHK学苑などの受講割引

各種イベントの実施



キスの船釣り



土肥花火クルーズ



食事会 (ホテルセンチュリー)

NHK歌謡コンサート
バスツアー



食事会
(駿河健康ランド)



納涼会



東京ディズニーランド
ファンパーティー



(4) 老後生活の安定に資する事業

① 老後生活安定セミナー



認知症サポーター養成講座

② 老後生活安定イベント事業 (出合いのパーティー)



バーベキュー
(静波リゾートホテル)



料理合コン
(静岡グランドホテル中島屋)

③ 子育て支援

(5) 給付等に関する事業

(1) 全福ネット慶弔共済一覧表

共済事由	内容
会員の結婚	20,000円
会員の銀婚	10,000円
会員の子の出生	10,000円
会員の子の小学校入学	5,000円
会員の子の中学校入学	5,000円
会員の成人	10,000円
会員の還暦	10,000円
会員の古希	御祝品

共済事由		内容
傷病休業見舞金	休業14日以上30日未満	10,000円
	休業30日以上60日未満	15,000円
	休業60日以上90日未満	20,000円
	休業90日以上120日未満	25,000円
	休業120日以上	30,000円
住宅災害見舞金		2,000～200,000円
障害見舞金		10,000～750,000円
死亡弔慰金	配偶者	50,000円
	子	20,000円
	親	10,000円
	会員本人	150,000～750,000円

(2) 退職金掛金の助成

2012年度 県政世論調査結果から

2012年度 県政世論調査結果

日常生活の悩みや不安について わからない3.8%

悩みや不安を感じている 80.4%

悩みや不安を感じていない 14.9% 無回答 0.9%

▽悩みや不安の内容(複数回答:%)

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
自分や家族の健康	60.1	62.0	57.4	53.2	58.7↑
老後の生活設計	57.4	59.9	56.9	51.2	53.9↑
東海地震などの災害	48.3	27.1	32.1	49.6	51.8↑
今後の生活費	52.0	53.4	48.0	47.2	49.3↑
東日本大震災に伴い新たに発生した不安 (電力不足や被災地がれきの受け入れ、原発問題など)				32.7 (新設)	22.1↓

2012年度県政世論調査

県が18日、度県政世論調査で、日常生活の悩みや不安を感じている人は前年増え、80%を超え、最も多い。暮らし向きが「苦しくなっている」7%。

県民の割に日常生活に

自分と家族の健康問題、老後

暮らし向きが「苦しくなっている」

44.7%

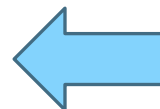
5年連続で4割を超えている

日常生活に悩みや不安を感じている

80.4%

昭和63年の設問開始以来、最も高い。

「生活支援」 「健康維持増進」
「老後の生活設計」 「防災」



「自分や家族の健康」
「東海地震などの災害」
「老後の生活設計」
「今後の生活費」

当財団の課題と今後の方針

- * 会員の拡大による会費収入の増を図るとともに、事務の効率的な執行により安定した財政基盤を確保する。
- * 公益財団法人として透明性のある運営を心掛ける。
- * 会員に魅力ある事業を提供することにより、会員の拡大と退会防止に積極的に取り組む。